

「くにつこミニ」 休止後の地域交通の方針

平成 29 年 7 月

国立市都市整備部道路交通課

「くにつこミニ」休止後の地域交通の方針

「くにつこミニ」休止後の交通不便地域の地域交通について、国立市福祉交通施策推進庁内連絡会にて、検討を行い、以下のとおり方針案をまとめましたので報告します。今後、対象地域住民や議会、関係機関等と意見交換・検討・協議を重ね、運行形態など具体的な交通システムを構築していきます。

1. 主な経緯

- 平成29年3月～5月 国立市福祉交通施策推進庁内連絡会（4回開催）
- 5月～6月 「くにつこミニ」休止地域住民と意見交換会（4会場で実施）
- 6月 国立市地域公共交通会議へ方針（案）報告
第2回定例会 建設環境委員会へ方針（案）報告

2 今後の地域交通の考え方

（1）対象地域

第三中学校及び中央高速国立インター周辺、ママ下湧水公園周辺などの交通不便地域を中心とした地域とします。

（2）対象者

対象地域の居住者とします。

（3）運行形態

デマンド型交通システムとします。

※デマンド型交通とは、路線バスとタクシーの中間に位置する交通形態で、事前予約による運行を基本とします。乗車人数、運行時間、発着地等を組み合わせた多様な運行方式から、利用目的、人口密度、道路状況、地理的条件等に応じて運行形態を選択することができます。

3 デマンド型交通の導入に向けた考え方

（1）事業の進め方

- ・デマンド型交通の実施に当たっては、事前に導入事業化調査委託により、地域のニーズ調査や試乗会を実施しPRを行い、サポーターとなる地域組織の立上げを検討します。また、対象地域の利用状況や要望等を踏まえ、運行車両を検討の上、短期的な車両実証運行を行い、市独自の運行形態や評価基準などを決定します。
- ・導入事業化調査後に、1年未満の試行運行を実施します。その後、地域公共交通会議で評価を行い、結果を公表し、対象地域住民・議会の意見等を聴取した上、次年度以降の事業計画を決定します。

（2）委託業者の選定方法

プロポーザル方式により導入事業化調査委託業者を選定し、試乗会・実証運行については、地元タクシー業者と提携して実施します。なお、実証運行に係る運行経費は委託費に含むこととします。

4 概算事業費

- ・導入事業化調査委託費 約 1,000 万円（運行経費含む）（平成 29 年 12 月～平成 31 年 3 月）
- ・デマンド型交通運行経費補助金 年間約 700 万円（初期費用含まず）

5 今後のスケジュール

平成 29 年	7 月～8 月	対象地域で方針（案）について、意見交換会を開催
	9 月	第 3 回定例会に国立市デマンド型交通導入事業化調査委託に係る補正予算案を提出 （平成 29 年度～平成 30 年度債務負担）
	10 月～11 月	国立市デマンド型交通導入事業化調査委託業者選定
	12 月～	国立市デマンド型交通導入事業化調査委託（デマンド型
	平成 31 年 3 月	交通の試乗会、対象地域ワークショップ、実証運行、運行形態の決定、評価基準設定など）
平成 31 年度		デマンド型交通試行運行実施、評価、見直し
平成 32 年度		デマンド型交通本格運行（評価基準に達した場合）